

LIFE TIMES

三菱化学物流株式会社
<http://www.mclc.co.jp/>

迎春



平成23年1月4日（火）発行 【隔月（年6回）発行】

発行部署 : ソリューション営業本部ソリューション部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4620
発行責任者 : 中島 英男
お問合せ窓口 : 古田 泰幸

新年明けましておめでとうございます。旧年中は皆様方の心温まるご支援を頂戴し誠にありがとうございました。本年も最新情報満載の「LIFE TIMES」をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

第91号

【目次】

1. インディアケム 2010参加
2. 2010年度 MCLC防災訓練
3. ネット詐欺の手口あれこれ
4. LIFE現場活動レポート Part2
5. MCLC場所自慢 Part2 ～第20回 川崎油槽所～
6. 「ロジスティクスSCM+流通フェア」参加レポート
7. 最新物流データ解析ツールについて



1. インディアケム 2010参加

2010年10月28～30日の3日間、インド・ムンバイ市において、『インディアケム 2010』が開催されました。2年に1度のインド最大規模の化学品展示会であり、当社(MCLC)を含め三菱ケミカルホールディングス(MCHC)グループから11社が出展しました。初日こそ来訪者数が伸びませんでしたが、2日目以降は大盛況となり、グループ各社とも営業拡大に向け、熱心に説明、商談を行っていました。ご承知の通り、インドは今後大きな成長が見込まれる市場であり、本展示会には多くの日系企業も出展していました。そんな中、日系企業の中ではMCHCグループが一番大きな展示スペースを確保しており、インド市場への期待の大きさが感じられました。

当社は、国際輸送に使用するISOタンクコンテナを中心にパネル展示を行い、国際物流におけるMCLCの強みをアピールしました。インドでは液体品の輸送容器としてはドラム缶の需要が高く、ISOタンクコンテナでの受け入れが可能な納入先はまだ多くありません。そのため、ISOタンクコンテナへの切り替えにより、輸送コストが下がるだけでなく、受入設備への投資を考慮しても、トータルでコストを下げられる可能性がある事を重点的にアピールしました。インドにおいて今回の展示会が、ISOタンクコンテナ普及へのきっかけになる事を期待しています。

インディアケム2日目の夜には、MCHCグループ全体でのWELCOME PARTYがあり、MCHC社の小林社長から直接話をお伺いすることができました。グループ会社の方とも情報交換を行う場をもうける事ができ、大変有意義な機会となりました。

2年後のインディアケム開催に向け当社として、ISOタンクコンテナ以外に新しいアピールができるよう日々新技術・仕組みの構築に努めてまいります。



2. 2010年度 MCLC防災訓練

当社では、物流リスクへの対応として防災対策の強化に取り組んでいます。今年度も9月～10月にかけて、各支社・油槽所にて総合防災訓練が開催されました。多いところでは今回が37回目の訓練となる場所もあり、どの場所も今までの知見に工夫を加え、万一の事故に迅速かつ適切に対応するための本番さながらの訓練となっております。

各場所の主な訓練内容は「基本規律訓練」「屋外消火栓操法訓練」「ローリー積荷漏洩事故想定訓練」などですが、尼崎油槽所では本年度からAED(デモ機)と心肺蘇生訓練人形を使った心肺蘇生訓練を取り入れました。訓練ではAEDからの音声指示に従って実際の操作を行い、心肺蘇生訓練人形への人工呼吸と心臓マッサージによって救護の手順を確認しました。

当社は、教育と訓練を通じ防災体制の強化を進めていく事と合わせて、新たな技術を積極的に取り入れ、最善の体制を整えていく事で、今まで以上に荷主の皆様へ信頼される「安全・安心」な物流企業を目指してまいります。

防災訓練実施日

9月14日	尼崎油槽所
9月16日	川崎油槽所
9月17日	四国支社
10月14日	中部支社
10月15日	九州支社
10月21日	鹿島支社
10月22日	中国支社



尼崎油槽所訓練風景



九州支社訓練風景



四国支社訓練風景

3. ネット詐欺の手口あれこれ(騙されないための基礎知識)

今やインターネットは生活に必要な道具の一つとして定着しており、読者の皆様も日に一度はネットを利用されているのではないのでしょうか？

いまネットを使った詐欺が流行っているそうです。最近の被害例を紹介しますのでネット利用に際しては十分注意してください。

①偽セキュリティソフト

ネット上で「ウイルスチェック無料！」といった広告を見受ける事があります。これらの広告には偽ソフトが多く、本当はウイルス感染していないにもかかわらず偽の警告を発生し「ウイルス駆除は有料」と謳われ、多額の支払請求を受けたり、カード情報を盗まれたといった被害が発生しています。

対策:セキュリティソフトは名の通った正規品を購入してください。

②買わないと駆除できない画像

「お宝映像！無料動画」といった広告につられ、ついクリックしてみたところ、家族には見せられない類の画像と共に高額な料金請求が書かれており、支払手続きを行うまでこの画像を消すことができない、電源を切っても再起動すると再び脅しの画面が出てくるといった事が発生しています。

対策:「君子危うきに近寄らず」です。怪しいと思ったらそれ以上は進まない事。

③フィッシング詐欺(Phishing)

詐欺行為をはたらく者がメールを使って個人情報等を「釣り上げる(Fishing)」ところからきてます。実在する企業を騙った偽メールがユーザーに届く⇒リンク先をクリックすると本物とそっくりのホームページが表示される⇒「パスワード再確認」といった偽の画面から個人情報やカード情報を騙し取られてしまう被害です。

対策:メールの送信者や内容を鵜呑みにしない事。安易に個人情報を登録しない事。

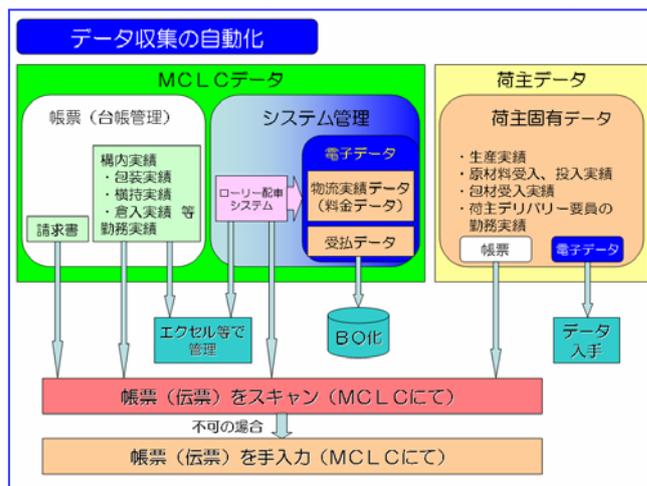
4. LIFE現場活動レポート Part2

当社ソリューション部は、お客様の物流について効率化のご提案をさせて頂いておりますが、その業種や検討対象範囲は様々で、調査内容と解析方法は実に多種多様です。

工場内物流における効率化検討においては、現地にて作業員や機械の稼働状況調査を行い、実際の状況を定量的にデータ化した数値と、お客様が管理している実績データを解析の材料としています。

お客様のデータを入手する方法は、電子化されたデータ、印刷された帳票、手書きの帳票（伝票）からなど様々ですが、アナログ作業になるほど解析にも時間を要します。ソリューション部のミッションは、お客様に最適な物流をご提案する事ですが、一方では私達自身の解析速度・精度を上げ解析作業の効率化を図る事も必要不可欠です。

そのために物流解析ツールの開発にも力を入れており、現時点においては『適正在庫シミュレーター』『一貫単価解析ツール』『最適発地解析ツール』などを完成させ、アウトプットの省力化にも努めています。また、実績データが帳票（伝票）ベースの場合、それらを電子データに置き換える必要がありますが、従来は手入力するしかなかったこれらの作業がスキャン技術の進歩により、自動化の方向へ進んでいます。実運用にはもう少し時間を要しますが、完成すれば更なる解析速度の向上が大いに期待できます。



5. MCLC場所自慢 Part2 ~第20回 川崎油槽所~

川崎油槽所は昭和38年三菱化成工業(株) (現三菱化学(株))の関東地区SPとしてスタートし、数々の変遷を経て今日に至っています。

現在は、34基のタンク群(危険物タンク32基、指定可燃物タンク2基)と危険物倉庫やローリー充填、ドラム缶充填及び棧橋等の各設備を保有し、操業しています。

近くには有名な「川崎大師平間寺」があり、本堂で行われるお護摩修行は厄除け・家内安全などの祈願を受ける人が大勢訪れ、日頃から賑わっています。特に正月三が日の参拝者は、明治神宮に次ぐ全国で2番目にランクされています。また、7月に開催される風鈴市も人気で、多くの方が全国各地から訪れます。

川崎市は、近くに羽田空港・JR新幹線品川駅・新横浜駅があり、陸路は2本の首都高速に加え東名高速にも近く、都心部へも電車で20～30分とアクセスが非常によく、現在は市を縦断する多摩川沿いに高層マンションが数多く建設されています。

また、京浜工業地帯では工場エリアの夜景を船上から見学するツアーがブームになっております。暗闇から突如現れる工場のイルミネーションは、まるで宇宙ステーションのように幻想的であり、間近に眺める事ができるのはこの工場夜景クルーズだけです。普通の夜景に満足できない人へはお勧めです。

是非みなさんも川崎の街に足を運んでみてください。



川崎油槽所内タンク



川崎大師



工場の夜景

6. 「ロジスティクスSCM+流通フェア」参加レポート

11月19日、今回で25回目(9年目)を迎えた頭書のフェアに参加しました。21のセミナーと17社の展示があり、大変盛況でした。タイムリーなものとして、2011年4月1日より施行されます「アルコール検知器使用の義務化」についてのセミナーや展示がありました。

「アルコール検知器使用の義務化」では下記4項目が義務化されます。

- 1) 全て(運行前、中間、運行後)の点呼時にアルコール検知器の使用義務
- 2) アルコールチェック結果を点呼記録簿に記録する義務
- 3) 出先で対面点呼が行えない場合は、アルコール検知器を持たせる義務
- 4) アルコール検知器の精度管理の義務

アルコール検知器のセンサーには、「半導体ガスセンサー」と「燃料電池式センサー」があり、一般的に、「半導体ガスセンサー」は価格が安い反面、誤反応の恐れがあります。「燃料電池式センサー」はその逆で、価格は高いが誤反応はありません。現時点ではセンサーの性能上の要件は問われておりませんので、どちらを採用しても構いませんが、「半導体ガスセンサー」を採用した場合には、誤反応が起きた時(あるいは誤反応がでる人)の事を考えておかねばなりません。併せて吹き込み不足などのごまかしが効かない様な機器を選定する必要もあります。飲酒運転の防止は勿論の事ですが、飲酒していない人が運転できなくなる様な事態を防ぐ仕組みも必要だと痛感しました。

7. 最新物流データ解析ツールについて

一般にシステムは、日常業務の効率化、容易化を図って狙って作ります。私たち物流効率検討チームにとりまして、荷主の物流実績データ解析、作業測定、現場ビデオ撮影などは、まさに日常業務ですがシステム化は難しい分野になります。当社では在庫や販直費などの解析ツールの開発も積極的に進めています。また、市販ソフトの中にも物流検討に役立つようなものを最近よく見かけるようになりました。今回は、先日参加しましたセミナーで紹介された最新のソフトについてご報告します。

まずは業務系のソフトです。最近「クラウド※」という言葉をよく聞きますが、10年前頃から倉庫管理システムのソフトを電話回線を通じてレンタルするという仕組みがありました。今回、このソフトがインターネット対応をする事でクラウド化されました。特徴は、インターネット環境があれば世界のどこからでもアクセスできますので、海外展開した場合でも容易に対応できる点です。

次に分析系のソフトでは、業務の可視化と改善を容易にできるソフトがあります。これは、予め用意された業務図(テンプレート)を元にして業務の洗い出しを行う事で、業務別の負荷を表現でき、また業務フローの自動作成と、見直し及び検証を行えるものです。このソフトは当社の物流解析にも応用できるのではないかと考えています。

当社ではソフトの自社開発にこだわる事なく、市販ツールの採用も念頭に入れ、案件の検討時間短縮と精緻な検討内容に努めていこうと考えています。

※クラウド(cloud computing): インターネット経由で、ソフトウェア、データベース、サーバーなどの各種コンピューター資源を利用するサービスの総称。



ソリューション部 中島 英男

新年明けましておめでとうございます。旧年中は本誌をご愛読頂き誠に有難く心より御礼申し上げます。さて、世情に目を向けますと、今回ほど不透明感(政治・経済・治安)をもって新年を迎えた年はなかった様に感じています。その様な状況下、三菱ケミカルホールディングス 小林社長より、21世紀の企業が目指すべき経営指標として「KAITEKI(快適)」というキーワードが提示されました。久しぶりの日本発信のメッセージが登場し、少々胸のつかえが和らいだ感がしています。とにかく、元気なニッポンへの復活を願うばかりです。